

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進					重要度	A	
番号・取組事業名	83001	下水道管路施設の包括的民間委託			作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31
担当部署	120800	土木部 下水道整備課			責任者	星 雅之	担当者	小泉雄司
取組年度	H28	～	R2					
効果	その他改善		歳出削減					
最終目標	<p>下水道施設の老朽化が進む中、施設の保全及び機能の確保、事故等の防止を目的とした予防保全型維持管理への早期転換が求められる。</p> <p>包括的民間委託の導入により、複数業務のパッケージ化及び複数年契約による維持管理の効率化を通じて、質の確保・向上及びコスト縮減を図るもの。</p> <p>(対象施設: 柏市が保有する管路1,280kmのうち、H28～R7の10カ年で、約560kmの調査・点検と約70kmの管更生工事)</p> <p>(包括的民間委託対象事業: 平成30年10月～令和4年9月までの4カ年事業)</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度								
平成30年度	計画どおり	平成30年10月に包括的民間委託の事業開始、5694箇所の簡易カメラ調査と約10kmの管内TVカメラ調査を完了						
令和元年度	計画どおり	5195箇所(約160km)の簡易カメラ調査と23kmの管内YVカメラ調査、約1,380mの管更生工事を完了						
令和2年度	その他	6196箇所(約190km)の簡易カメラ調査と22kmの管内TVカメラ調査、約350mの管更生工事を完了						
成果指標	指標名	直営と比較した包括的民間委託による事業費の削減額					単位	千円
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値				190	79,550	79,400	159,140
	実績値				297	67,661	97,837	165,795
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)					・職員4人工の削減 ・予防保全維持管理への移行	・職員4人工の削減 ・予防保全維持管理への移行	・職員4人工の削減 ・予防保全維持管理への移行	

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進				重要度	A			
番号・取組事業名	83001	下水道管路施設の包括的民間委託	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	120800	土木部 下水道整備課	責任者	星 雅之	担当者	小泉雄司			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	その他	6196箇所(約190km)の簡易カメラ調査と22kmの管内TVカメラ調査, 約350mの管更生工事を完了							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	管路内カメラ調査			○	○	○	○		
2	管更生設計			○	○				
3	管更生工事				○	○	○		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	調査に関しては, 計画通り進んでいる。 管更生工事に関しては, 管更生工事着手前の前処理工に時間を要しているため, 当初の予定より進捗が遅れている。下半期については, 前処理工を実施し, 順次管更生工事を実施していく予定である。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	直営と比較した包括的民間委託による事業費の削減額		計画値	単位	千円	実績値	単位	千円
					79,400			97,837	
	達成状況【成果】	一部達成		コメント	業務の包括化により 97,837千円の事業費削減 一部繰越事業はあるが概ね計画どおり進捗				
	進捗状況【活動】	その他							
計画変更(次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	事業効果について, 細部にわたり検証を行い, 問題, 課題を整理した上で事業継続に努められたい。				
	方向性	継続実施							

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	83002	手賀の丘公園魅力向上事業	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31		
担当部署	140900	都市部 公園管理課	責任者	伊藤 公之	担当者	総務担当		
取組年度	R2	～	R2					
効果	歳入増加	歳出削減						
最終目標	手賀の丘公園において利用者のニーズに合った施設の整備やサービス向上を目指し、有料施設の整備運営する民間事業者を選定する。老朽化する施設の改修や一部インフラ工事を市が実施し手賀の丘公園の魅力向上に努め、有料施設利用者の増加及び市の財政負担の軽減を行う。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度								
平成30年度								
令和元年度								
令和2年度	計画どおり	有料施設の整備運営を行う民間事業者と優先整備の協議を行い、浄化槽修繕・空調機更新・便器改修・危険木伐採等を実施した。今後も優先度の高い設備の更新を行いサービス向上を目指す。						
成果指標	指標名	手賀の丘公園有料施設の利用者数					単位	人
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値						44,244	44,244
	実績値	22,604					19,081	19,081
効果額	歳入増加	当初計画額					3,500	3,500
		変更計画額						
		実績額	1,981					2,548
	歳出削減	当初計画額					3,500	3,500
		変更計画額						
		実績額	11,297					5,849
計	当初計画額		0	0	0	0	7,000	7,000
	変更計画額		0	0	0	0		
	実績額	13,278	0	0	0	0	8,397	8,397
見込まれる その他効果 (金額以外)	公園利用者の 利便性向上						公園利用者の 利便性向上	

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進				重要度	B	
番号・取組事業名	83002	手賀の丘公園魅力向上事業	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	140900	都市部 公園管理課	責任者	伊藤 公之	担当者	総務担当	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	計画どおり	有料施設の整備運営を行う民間事業者と優先整備の協議を行い、浄化槽修繕・空調機更新・便器改修・危険木伐採等を実施した。今後も優先度の高い設備の更新を行いサービス向上を目指す。					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	公園施設設置管理許可			○			
2	インフラ工事設計業務			○			
3	施設改修工事			○	○	○	
4	インフラ整備工事					○	○
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新型コロナウイルス感染症対策のため施設オープンが6月となってしまったが、施設運営を行っている民間事業者と協議を行い、早急に対応したことで、必要な施設の改修工事は予定どおり進んでいる。ただし、4月・5月にキャンプ施設を休園したことにより全体的な利用者数増加には苦慮している。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	手賀の丘公園有料施設の利用者数	計画値	単位 人 44,244	実績値	単位 人 19,081
達成状況【成果】		一部達成	コメント	新型コロナウイルス感染症対策のため施設オープンが6月からとなってしまう有料施設の利用者数は目標にいたらなかったが、新しい生活様式とした屋外でのレジャーである事や民間事業者の手法による広報で、繁忙期以外でも一定数の利用客数を確保している。施設の改修工事については、施設運営を行っている民間事業者との協議を行い、顧客ニーズに応じた整備が進められている。			
進捗状況【活動】		計画どおり					
計画変更(次年度以後)		取組内容		コメント			
		計画値					
評価	評価者	酒井 勉	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	新型コロナウイルス感染症対策によるオープン時期の延期等はあったが、手賀の丘公園のキャンプ場リニューアル初年度として、一定の利用者が足を運んでいる。今後も、適宜、関係団体等と連携のうえ、新たな付加価値の創出を目指す。			
	方向性	継続実施					

R2

アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進				重要度	B		
番号・取組事業名	83003	小学校の水泳授業の民間委託		作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	270300	学校教育部 指導課		責任者	逆井 俊彦	担当者	羽田健太郎	
取組年度	R2	～	R2					
効果	その他改善							
最終目標	<p>小学校3校をモデル校として水泳授業を民間委託することにより、</p> <p>①インストラクターの専門性の高い水泳指導による児童の泳力向上</p> <p>②少人数の教員での引率・指導が可能となることや天候に左右されることがなく計画通りに実施できることなど、教職員の業務の負担が大幅に削減される。</p> <p>③コスト面では、プールの維持管理費の削減となる。</p> <p>以上3点の効果について検証を予定したが、新型コロナウイルス感性拡大防止の為、中止となった。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度								
平成29年度								
平成30年度								
令和元年度								
令和2年度	その他	学校と業者との打ち合わせを実施したが、その後、中止が決定し、実施しなかった。						
成果指標	指標名	水泳授業の民間委託実施アンケート(満足度)					単位	%
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値
	当初計画値						70	70
	実績値						0	0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
計	当初計画額		0	0	0	0	0	0
	変更計画額		0	0	0	0	0	0
	実績額		0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)							専門的な指導を受けることにより児童の泳力が向上する。教員の負担の軽減となる。また、プールの維持管理のコスト減が期待できる。	

R2

アクションプラン(令和2年度)

推進項目	83 公共施設の民間連携の推進				重要度	B			
番号・取組事業名	83003	小学校の水泳授業の民間委託	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31			
担当部署	270300	学校教育部 指導課	責任者	逆井 俊彦	担当者	羽田健太郎			
	区分	取組内容・目標							
令和2年度	その他	学校と業者との打ち合わせを実施したが、その後、中止が決定し、実施しなかった。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	水泳授業の民間委託のためのモデル校と民間業者打合せ			○					
2	水泳授業の民間委託実施			○	○	○			
3	水泳授業の民間委託検証					○			
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	その他	コメント	新型コロナウイルス感染症の影響で、水泳の授業が全校中止となったため、実施できなかった。事前の打ち合わせは行うことができ、授業の流れが確認できたので、次年度からの実施に活かしていく。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	水泳授業の民間委託実施アンケート(満足度)		計画値	単位	%	実績値	単位	%
					70			0	
	達成状況【成果】	その他	コメント	業者の選定及び当該校との打ち合わせまで実施したが、新型コロナウイルス感染防止対策のため、市内全小中学校で水泳授業が中止となった。そのため、本事業についても中止とした。民間委託による水泳授業実施当日の流れについては、学校との打ち合わせにより、確認することができた。次年度以降、スムーズに事業が展開できるよう内容を引き継ぐ。					
	進捗状況【活動】	その他							
計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント						
	計画値								
評価	評価者	須藤 昌英	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、水泳授業の実施ができなかった。次年度以降について、今年度実施した業者や実施校との打ち合わせ等の計画内容を活かし、円滑な事業展開の実施を求めたい。					
	方向性	継続実施							